

新しい人権交流の場ができました

中山ふれあいセンター開館



人権・同和問題に対する啓発や、福祉向上のための住民交流の拠点となる中山ふれあいセンターがこのほど完成し、3月29日（木）に竣工式が行われました。式典では清祓神事の後、関係者に感謝状が贈呈されました。

この施設は、下田中隣保館の老朽化が進み、平成14年から再建を検討していたもので、昨年8月に着工し、今年3月25日に、9号線沿いに移転、新設されました。総事業費は9千9百万円。そのうち約6千万円は、国からの補助金を充てました。

木造平屋建てで、100人収容可能な大会議室、畳敷きの研修室、調理実習室、図書室などがあります。会議や研修など、どなたでも利用できますので、お気軽にお問い合わせください。

中山ふれあいセンター
大山町田中762番地8
☎0858・58・2401

押平と所子地区を結ぶ橋

阿弥陀川橋・押平橋が開通



渡り初めをする谷野さんのご家族



テープカット

大山町押平と所子を結ぶ町道末長押平線阿弥陀川橋と、町道押平所子線押平橋が完成し、3月25日（日）、開通式が行われました。テープカットや、四世代で押平にお住まいの、谷野拓男さんご家族による渡り初めて竣工を祝いました。

二級河川阿弥陀川に架かる両橋は、潜橋（水面に近く、水位が上がると水面下に潜む橋）のため、しばしば通行止めになっていました。地域住民にとって安全で安心して渡れる橋の建設

は、永年の願いでした。

このほど、国からの補助金に加え旧橋の補償費を受け、平成16年度から3年間で総事業費5億8百万円をかけ、連絡道路も併せて完成したものです。

阿弥陀川橋は鋼橋で橋長約125m、押平橋はコンクリート橋で橋長約21m。いずれも2車線で歩道を併設しています。旧橋の約100m南に位置し、旧橋は取り壊し予定です。この橋の完成で地域間の交流が広がり、地域の一層の発展が期待されます。